



《特集》麻酔科医 | P2・3

## CONTENTS

《特集》麻酔科医	2・3
がくさいフレッシュマン	4
がくさいキッチン	5
病院関連施設一覧	6



## 特集

Special edition

# 手術中患者の生命を守る 麻酔科医

体にメスを入れる外科手術に欠かせないのが「麻酔」。手術によって患者さんが感じるはずの痛みやストレスを、麻酔が取り除いてくれます。その麻酔を扱う専門家が麻酔科医です。手術中は、患者さんの全身状態を常に把握し、生命を守る重要な仕事を担っています。近年は、医療ドラマやコミックに麻酔科医が登場することも多くなってきました。麻酔科部長の加藤祐子先生に聞きました。



がくさい病院 麻酔科  
加藤 祐子 部長 (かとう・ゆうこ)

大阪府済生会吹田病院麻酔科、京都府立医科大学附属病院麻酔科、京都府立医科大学麻酔学教室講師、京都第一赤十字病院麻酔科医長などを経て、2020年11月より現職。日本麻酔科学会 専門医・指導医。

## “ハイボリューム”の病院で日々奮闘

全身麻酔の患者さんを付きっきりで「監視」

年間1000件以上！

がくさい病院は、整形外科の手術を年間1000件以上も行っている、いわゆる「ハイボリュームセンター」で、1日の手術件数は8～9件のにのぼります。特に、変形性ひざ関節症の手術件数は、京都市内の医療機関でトップです。私たち麻酔科医は手術室で、患者さんに痛みやストレスを感じさせないようにコントロールし、手術中の

患者さんの全身状態を良好に保つよう努めています。手術件数が多いだけに、忙しい中でもミスが起きないように安全第一を心掛けています。

うまい！ はやい！

3年前に当院に着任して驚いたのは、整形外科の先生方の手術が「うまい」「はやい」ということ。大学病院などの麻酔科で20年以上勤務してきた私が言うのですから間違いありません。

手術が正確かつ迅速なのは、医師の技量の高さを証明しています。手術時間が短ければ、患者さんの身体的負担は確実に軽減されますし、感染リスクも低下します。さらに、手術室看護師も非常に優秀で、多忙を極める中での努力や工夫にはいつも感心させられています。

手術中の安全確保

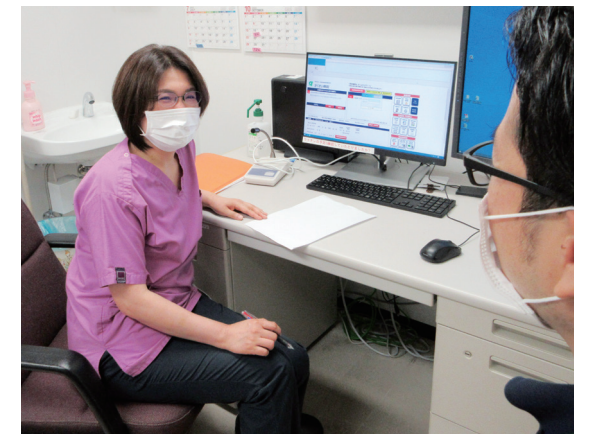
皆さんは手術室での麻酔科医の役割をご存知ですか？ 手術室に入った患者さんへの麻酔薬投与だけが仕事ではありません。当院では全身麻酔が基本で、手術中は患者さんのそばを離れず、術中監視を行っています。麻酔が効き始めると患者さんの呼吸は弱くなりますので、人工呼吸管理に必要なチューブを気管に留置したり、万一のトラブルに備えて、血圧や呼吸、心拍数などの動きをモニターで観察し、必要に応じて麻酔薬や輸液の調整なども行います。また、術後になるべく痛くないように、手術中から強い痛み止めを投与しています。手術室から病棟へ戻る前に「安全な状態まで回復しているか」をしっかり確認するのも重要な仕事です。

新たな取り組み

手術を受ける一部の患者さんに、朝食を提供する試みを始めています。麻酔時におうと嘔吐によるこえん誤嚥性肺炎や低酸素になるリスクを予防するた

め、手術当日の患者さんは絶食となります。ただ、手術件数が多いため、手術のスタートが夕方になる患者さんもおられ、これまでは空腹のまま長時間お待ちいただいていた。待たされることで、不安感やイライラも募りますので、病棟看護師や栄養科のスタッフと相談して、午後3時以降に手術を受ける患者さんには、消化の良い安全なメニューを手術日の朝にお出しすることになりました。患者さんからも好評です。

手術やりハビリを頑張っておられる患者さんが乗り越える山は、低いに越したことはありません。手術を受ける患者さんの苦痛をなるべく少なくし、無事に生活復帰していただけるよう、麻酔科医としてこれからも患者さんに寄り添っていきたくと思っています。

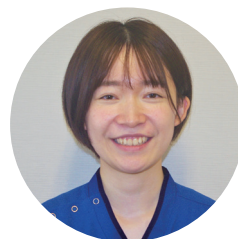


心臓などに持病のある患者さんには手術前に麻酔科医が面談することも

新入職員紹介

# がくさいフレッシュマン★

4月1日付で「がくさい病院」に入職した新入職員の中から、回復期リハビリテーション病棟に勤務している言語聴覚士、作業療法士、看護師、介護福祉士の皆さんをご紹介します。



言語聴覚士 **遠藤 貴子**

中学の時に吃音に悩んだ時期があったのですが、そのことを大学4回生の就職活動中に思い出して、(文学部だったので)専門学校に入り直して言語聴覚士の資格を取得しました。食べ物を飲み込むことが難しかったり、失語症などでコミュニケーションが取りにくい患者さんのリハビリを担当しています。中途障害の場合、気持ちが落ち込んでしまうことが多いので、そんな患者さんと二人三脚で頑張れるセラピストになりたいと思っています。



作業療法士 **河村 修都**

名前の通り、小学校からバスケットボールに打ち込んできました。練習でケガをして病院で治療してもらううちに、リハビリに関わる仕事に就きたいと考えるようになりました。大学では「この病気にはこの治療法」のような教わり方をしますが、臨床の場では、同じ疾患でも患者さんによって症状の出方が違ったり、背後に別の病気が隠れていたりと、そんなに単純ではありません。先輩方からサポートを受けながら日々勉強しています。



看護師 **嵯峨根 菜々子**

以前は総合病院で脳神経外科や脳神経内科に勤務していました。現在の回復期リハビリテーション病棟に入院している患者さんの約8割に脳疾患があるということで、これまでの経験も生かしているかなと思っています。失語症や認知症などで自身の気持ちをうまく伝えられない患者さんに寄り添って、その思いを少しでも理解できるよう努めています。自宅での生活を目指してリハビリに取り組む患者さんを看護師として支援していきたいです。



介護福祉士 **大坪 博子**

別の病院で看護助手の仕事をしていたのですが、思い立って介護福祉士の資格を取ったので、それを生かせる病院ということで、当院に転職してきました。周囲の医療専門職や先輩ワーカーの力を借りながら、病気で後遺症が残ってしまった患者さんが、在宅復帰に向けて一歩ずつ前進して行けるようお手伝いしています。患者さんは私より年上の方がほとんど。人生の先輩に対してのリスペクトを忘れず、丁寧に接することを心掛けています。

## がくさいキッチン



第12回

### 野菜たっぷり！ クラムチャウダー

鉄分しっかり 貧血予防に

recipe

【1人あたりの栄養価】



調理時間 15分

材料(2人分)

あさりの水煮缶	80g	A	水	150ml
玉ねぎ	1/4個		(あさりの缶汁半分程度含む)	
人参	1/5本		料理酒	大さじ2
じゃがいも	小1個		バター	5g
ほうれん草	30g		小麦粉	大さじ1
しめじ	30g		牛乳	100ml
ベーコン	20g		塩・こしょう	少々

作り方

- 玉ねぎ、人参、じゃがいもを1cm角に、ほうれん草は3cm幅に切る。しめじは石づきを切り落としほぐす。ベーコンは1cm幅に切る。
- 鍋にバターを溶かし、玉ねぎ、人参、じゃがいも、ベーコンを入れ炒める。玉ねぎが透き通ったら、小麦粉を入れなじませる。
- Aを入れ、中火から弱火で、じゃがいも、人参がやわらかくなるまで煮込む。
- ほうれん草、しめじ、牛乳、あさりを入れひと煮たちさせ、塩こしょうで味をととのえる。



「鉄分」豊富な食材は身の回りにいっぱい

鉄分を多く含む食材としてレバーを思い浮かべる方が多いかもしれませんが、実は、レバーのほかに、鉄を含む食材はたくさんあります。動物性食品では、あさりや赤身肉、イワシなど。植物性食品では、がんもどきや小松菜、ほうれん草などに鉄が多く含まれています。そして、ビタミンCが鉄の吸収を助けてくれます。じゃがいものビタミンCは加熱に強く、このクラムチャウダーは鉄とビタミンCと一緒にとれます。鉄分が豊富な食材はスーパーなどでも簡単に手に入るので、貧血気味の方や鉄不足を感じる方は、積極的に食生活に取り入れてみましょう。

交通案内



- 市バス 四条河原町より32系統 「市立病院前」下車 北へ徒歩4分
- 市バス JR京都駅より73・75系統 「市立病院前」下車 北へ徒歩4分
- 市バス JR京都駅より205系統「西大路松原」下車 東へ徒歩5分
- 阪急 西院駅より徒歩10分
- 京福嵐山線 西院駅より徒歩10分
- JR 丹波口駅より徒歩12分
- 京都駅から10分

関連施設等

がくさい病院

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番9 TEL(075)754-7111

- 訪問リハビリテーション「がくさい」(がくさい病院内) TEL(075)754-7303
- 京都市域京都市域地域リハビリテーション支援センター(京都市府より指定) TEL(075)754-7128
- 京都府リハビリテーション教育センター指定教育病院
- 日本整形外科学会研修指定病院
- 日本リハビリテーション医学会研修施設 TEL(075)754-7111
- 日本医療機能評価機構認定病院 (リハビリテーション病院3rdG Ver2.0 付加機能評価リハビリテーション機能(回復期) Ver3.0)

介護老人保健施設「がくさい」

〒603-8465 京都市北区鷹峯土天井町54番地 TEL(075)494-0318

- 京都市北区地域介護予防推進センター(京都市より指定) TEL(075)494-0323

訪問看護ステーション「がくさい」

〒603-8214 京都市北区紫野雲林院町76番地 TEL(075)431-6154

居宅介護支援事業所「がくさい」

〒603-8225 京都市北区紫野南船岡町15番地2 クラスカ西陣515 TEL(075)414-2662

京都市鳳徳地域包括支援センター(京都市より委託)

〒603-8145 京都市北区小山堀池町10番地レスポアール紫明102 TEL(075)223-3511



http://www.gakusai-hp.jp/

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番9 TEL:075-754-7111 FAX:075-754-7100